



◆ 早崎百合子 議員

問 認知症サポーター養成講座の受講者の現状は。

答 公民館単位で巡回型認知症講座を開催している。早期発見・治療へのツールとして有効であったと考えている。

問 タッチパネル式コンピュータ（物忘れ相談プログラム）の活用方法と導入の効果は。

答 平成20年度からスタートし、現在84回開催。小学生を含む2728人が受講している。

問 普及啓発活動の展開方針は。

答 広報養老・ホームページに加え、生児童委員・老人クラブ・いきいきサロン・介護サービス事業所・居宅介護支援事業所などに声かけする。

水防倉庫・防災備蓄倉庫の管理は

町長 地域と協働し点検、情報共有



町内の水防倉庫

答 町と地域との協働で備蓄品等の管理・点検を行い情報共有する。

問 防災備蓄倉庫のチェック管理の責任者は。

答 点検の結果、12箇所での修繕が必要であると判断。緊急性の高いものから数年計画で順次補修していく。

問 水防倉庫の河川許可標・河川同意標識の管理体制は。

答 37箇所の設置がある。定期的に国土交通省へ申請を行い、随時更新しながら適正に管理している。

問 水防倉庫の維持管理は適正に行われているか。

答 起こりうるべき災害に備え水防倉庫・防災備蓄倉庫の充実管理体制の強化に関心をもち、重視していく必要があると感じている。水防倉庫・防災備蓄倉庫の存在は自助・共助を実現するための資材確保にとって重要だと思われる。

町長

現況を踏まえ各種団体にPR

認知症予防施策・

普及啓発は



◆ 松永 民夫 議員

町長

一日も早く着手を期待

大型商業施設誘致の進捗は

問 スーパーサンシは農地転用、開発許可が平成29年2月28日に認可されたが、その後の進捗状況及び事業計画は。また、対象の用地は現在放置されているが管理責任はどこか。

答 当初の計画では、平成29年7月に事業に着手し建設工事の計画であった。2年程経過した現在、事業は行われていない。テナントの交渉中であることから、一日も早く着手されることを期待している。用地の管理は農地転用の許可時点において、転用事業者へ移ると考える。



スーパーサンシ事業予定地（国道258号線沿い）

問 サラタコスモ誘致の農地転用、開発許可は平成29年9月5日に認可されている。今後の事業計画は。

答 平成31年3月22日に事業に着手し、来年3月末に工場の建設が完了予定。一部用途変更の申請を行っている。その後レストラン、物産販売等の施設を整備していく予定。

厳しい清華苑の運営は

町長 経費削減、利用促進に努力

答 式場利用状況は昨年度50%を下回っている。また、経営経費収支状況は過去3年平均568万円の赤字となっているが、今後、火葬炉及び屋根の防水工事で6500万円ほど必要である。そのため、利用体系を見直し、東半館利用で祭壇変更の場合、現行の3分の2の料金とし、利用促進を図りたい。また、柔軟なサービス提供のため、民間事業者への委託も調査研究していく。

問 平成30年9月定例会の補正予算で、清華苑の損害賠償金1050万円が議決されたが、その後の経緯、結果は。

答 元囀託職員の預り金1000万円は慎重に事務処理し、今年3月1日に一般会計への入金を終了した。相殺後の残額約29万円、遅延損害金約135万円は督促や法的措置など顧問弁護士の助言を得て対応していく。

町長

清華苑の利用が年々減少している。利用状況及び収支状況は。近隣市町と比較すると使用料が高い。清華苑の今後の運営方針は。

答 清華苑の利用が年々減少している。利用状況及び収支状況は。近隣市町と比較すると使用料が高い。清華苑の今後の運営方針は。